



# 歯周病が体の病気と関係しているって本当ですか？

はい、様々な病気に直接的、間接的に関与しています。

歯周病は現在わかっているだけでも6つの全身の病気と関連しています。

中でも最もリスクの高いのが『肺炎』です。

肺炎は日本人の死因第3位となっている病気で、歯周病になることで約4倍肺炎にかかりやすくなります。

## 歯周病と全身疾患

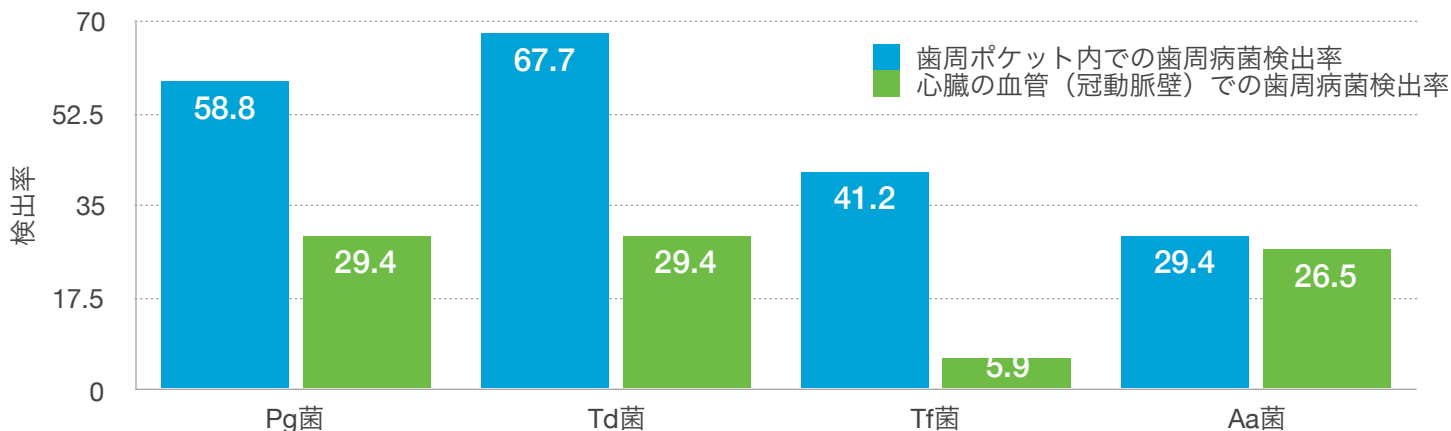
さらに死因の第2位である『心疾患』も歯周病によってリスクが高まる事が分かっています。

その理由の1つとして歯周病菌が口腔内の血管を介して血流に乗り、全身に巡ると考えられています。

実際に2004年に発表された研究では動脈硬化を起こした患者さんの血管から歯周病菌が見つっています。



### 動脈硬化をおこした人の心臓の血管から見つかった歯周病菌の割合



Ishihara K, Nabuchi A, Ito R, Miyachi K, Kuramitsu HK, Okuda K: Correlation between detection rates of periodontopathic bacterial DNA in carotid coronary stenotic artery plaque and in dental plaque samples. J. Clin. Microbiol. 42: 1313-1315. 2004.

歯周精密治療

歯周病予防プログラム

健康長寿

セルフケア教育

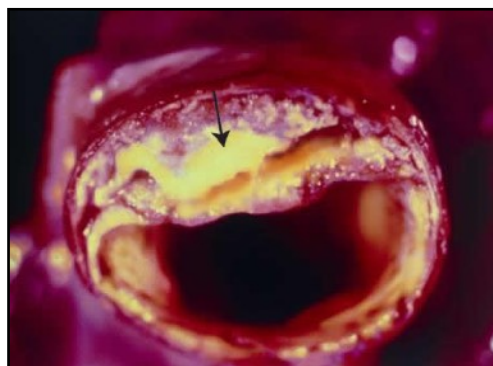
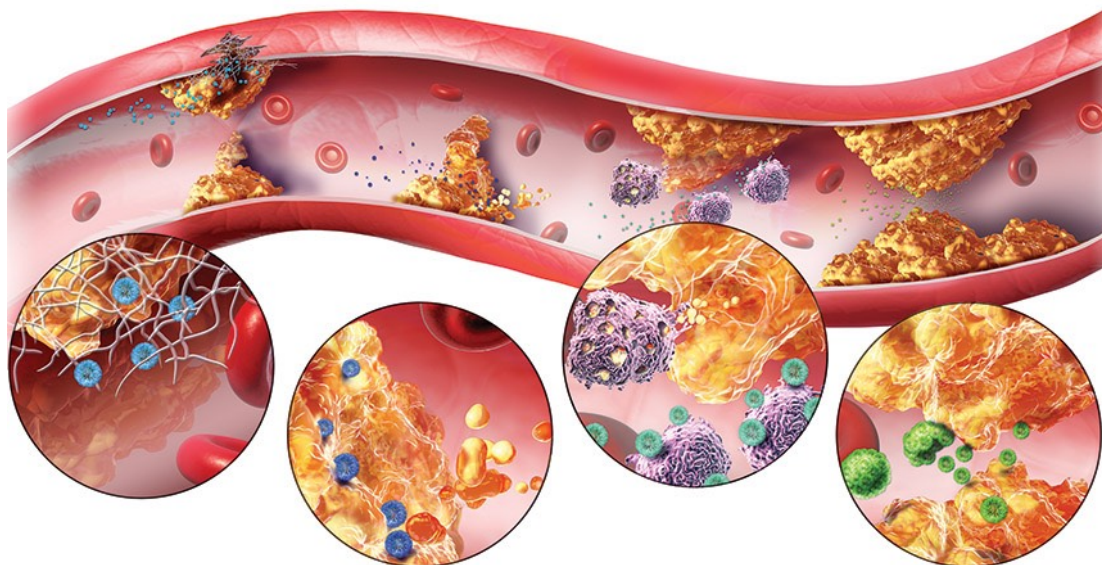
生涯メンテナンス



日本歯周病学会 専門医

東京都多摩市馬引沢 2-3-29 MAHIKIZAWA f  
TEL: 042-389-0281 WEB: fukushima-dental.jp



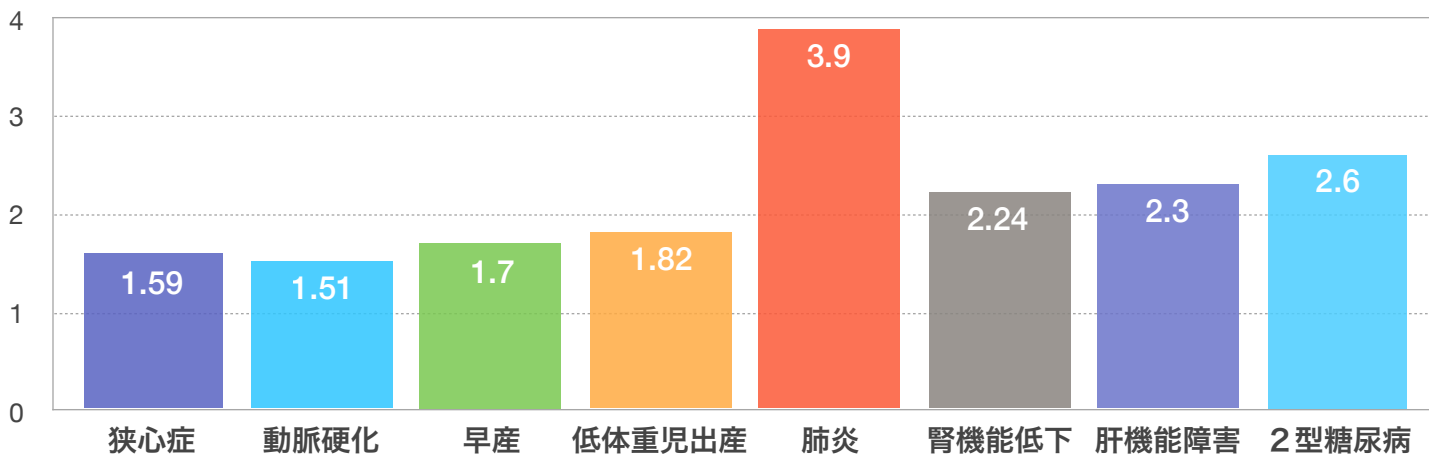


左の写真は、動脈硬化を起こした患者さんの血管の断面写真です。

炎症反応によって作られた成分は血管の内壁の弾力性をなくし傷つきやすくなります。

傷ついた血管壁が治る過程で中に細菌が住み着いたり、壁自体が厚みを増して血管を狭くしていきます。**これが動脈硬化や心筋梗塞へと発展します。**

歯周病によって高まる疾患のリスク倍率



他にも「歯周病」と「糖尿病」にも強い因果関係があり、歯周病を治療することで血糖値が改善したという報告もされています。

こういった科学的な事実からも当院では、歯周病治療を通じてのQOL向上を目指して診療を行わせていただいております。